

総合情報メディアセンターNEWS

2022年 4月

第14巻 第1号

図書館へようこそ！



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。総合情報メディアセンターは「図書館部門」「情報基盤部門」から構成された組織で、本学の教育研究支援を目的とした、学術情報の収集と情報発信ならびに基盤の整備運用等のサービスを行っています。大学生活が実り多く充実した日々となりますよう、総合情報メディアセンターも全力で皆さんをサポートします。



図書館部門
情報基盤部門



荒牧キャンパス（前橋市）

中央図書館
荒牧センター



昭和キャンパス（前橋市）

医学図書館
昭和分室



桐生キャンパス（桐生市）

理工学図書館
桐生分室

初めての図書館、基本の「キ」

■入館には学生証が必要です！

学生証は、図書館の入館時や資料の貸出時にも必要です。必ず携帯しましょう。

■目的に合わせた多様なエリアがあります！

1人でじっくり勉強する、仲間とディスカッションする、パソコンからレポートを印刷するなど、図書館には目的に合わせた多様なエリアを用意しています。ぜひ、あなたの勉強部屋として、また人的・知的交流やリラクスの場としてもフル活用してください。



■3キャンパスの図書館を利用できます！

学部・学年を問わず、どの図書館も利用できます。もちろん貸出も可能です。

医学図書館は90%が医学・看護系の資料、理工学図書館は80%が自然科学・工学系の資料です。自分の専門分野以外の資料にもぜひ触れてみてください。3館で60万冊以上の資料群が知的好奇心を刺激してくれることでしょう。また、電子ブックや電子ジャーナル、データベースなどの電子資料は、自宅からも利用できます。

■Webサービスには「全学認証アカウント」が必要です！

図書館のMyLibraryサービス、自宅からの電子資料の利用、無線LANの接続や大学設置PCのログインなど、学内の様々なWebサービ

スには「全学認証アカウント」のIDとパスワードを使用します。配付されたIDとパスワードをお忘れなく！

■図書館利用案内、開館時間、コロナ禍の利用制限などはHPをチェックしましょう！

利用案内やイベント情報など、詳しくは総合情報メディアセンターHPにて紹介しています。ま

た、新型コロナ対応のため、サービスを一部変更することがあります。最新の情報はHPをご確認ください。

<https://www.media.gunma-u.ac.jp>



本を検索する以外のOPACの使い方



群馬大学図書館OPAC (<http://opac.lib.gunma-u.ac.jp/opac/>) は、本を検索する以外にも新着図書の一覧や貸出ランキングを表示する機能があり、これらを紹介したいと思います。新しい本との出会いにお役にたてましたら、幸いです。

【アクセス方法】

総合情報メディアセンターのトップページ (<https://www.media.gunma-u.ac.jp/>) 蔵書検索(OPAC)の検索窓の下にある「詳細検索」と表示されているリンクをクリックして詳細検索画面に移ります。画面上部に「新着図書」, 「新着雑誌」, 「貸出ランキング」と表示されたリンクがそれぞれありますので、そちらをクリックして下

さい。ただし「貸出ランキング」はスマートフォンには対応しておらず、恐縮ですがPCからご覧ください。

【できること】

- ①「新着図書」「新着雑誌」— 過去最大1か月に図書館に入荷した図書・雑誌の一覧を見ることができます。
- ②「貸出ランキング」— 年度別に最大ベスト50までの貸出数の多い図書の一覧を見ることができます。また学部別にベスト50を表示させることもできます。

(中央図書館 山村)

無線LANをご活用ください



昨年度末に桐生地区を中心に無線LANアクセスポイントを増設しました。これにより各地区のほとんどすべての建屋とフロアに、アクセスポイントが設置され、利用範囲が広がりました。導入したアクセスポイントは、IPv6に対応しているのはもちろんのこと、5GHz帯のIEEE802.11axに対応しています。

今年度よりGUNet2022として学内ネットワークも更新されました。対外接続も国立情報学研究所

のSINET6に移行し、冗長化した10Gbpsのネットワークで高速通信が可能です。

今回のネットワーク更新でプライベートネットワークにも対応しました。次世代ファイアウォールの導入により強固なセキュリティの配下で安心してご利用が可能です。皆様、教育や研究に無線LANをどうぞご活用ください。

利用方法・利用エリアはこちら

<https://www.media.gunma-u.ac.jp/network/wlan/>

(講師 小川康一)

利用案内クイズ「M教授と大きな耳の男の子」

—理工学図書館—

理工学図書館の利用方法を楽しく学べるクイズを開催します。



～プロローグ～

「M教授から資料を借りるように言われたあなた。図書館へ行くと大きな耳の男の子がいます。気づくとスマホを男の子に奪われてしまい・・・」

初めて理工学図書館へ来る方にお勧めですが、もちろん今まで利用したことがある方も楽しめるクイズです。お昼休みのちょっとした時間でも参加できます。

【参加方法】

- 1) 図書館サービスデスク前に置いてある問題&解答用紙を入手する。

- 2) 館内を回りながらクイズに答える。
- 3) 解答用紙をサービスデスクへ持っていく。

解答していただいた方全員に「猫絵バックor大きな耳の男の子クイズ限定の葉」をプレゼント。さらに正解者は挑戦ネーム(ニックネーム)を館内に掲示します。この機会にぜひ、理工学図書館までお越しください。

期間：4月1日(金)

～6月17日(金)

(理工学図書館 森山沙織)

展示企画「坂口安吾の図書」

—理工学図書館—

坂口安吾氏が桐生市へ転居して今年ちょうど70周年です。戦前から戦後に活躍した文豪である彼の作品は、映画化や舞台化、テレビドラマ、さらにアニメ化され、広く親しまれています。

彼は1906年新潟生まれ、1952年に桐生市へ転居し、1955年急逝しました。その時代背景はというと、第一次世界大戦や関東大震災、第二次世界大戦を生き、戦争が終わってまもなくの頃に亡くなったのです。その経験から「堕落論」は、戦時中から戦後を見つめた坂口安吾ならではの倫理観を語っています。

暗い作品が多いように思われ

るかもしれませんが、彼の初期の作品「風博士」は滑稽で面白く、一番の代表作といわれる「桜の森の満開の下」では、残酷であるにもかかわらず美しく美しい世界が広がっています。

今回の展示では、一般社団法人青空朗読様のご協力により、坂口安吾作品の青空朗読を展示コーナーにて流します。読むのではなく、聞くことから彼の世界に触れることができます。

晩年を桐生市で過ごし、群馬大学とのエピソードもある坂口安吾氏の作品を手にとってみてはいかがでしょうか。

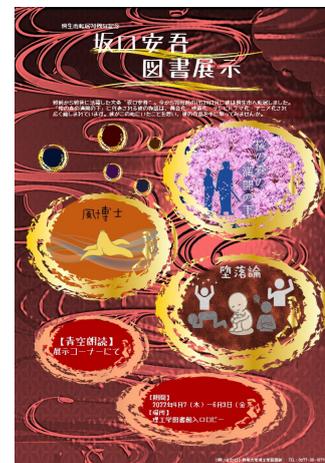


期間：4月7日(木)

～6月3日(金)

場所：理工学図書館入口ロビー

(理工学図書館 森山沙織)



新着図書が入りました —医学図書館—

図書館では、学生の学習・教育支援に必要な資料の充実を図るため、先生方にご協力をいただき教員推薦の学生用図書を購入しています。医学図書館では11月に募集し多数のご推薦をいただきました。購入した図書は2階の新着図書コーナーで利用できます。随時、新しい図書が入りますので、ぜひご利用ください。

(医学図書館 飯塚愛)



『科学を育む 査読の技法』
水島昇著(羊土社, 2021)
推薦者
岩崎広英先生(医学系研究科
機能形態学講座)

『イラストでわかる義肢療法』

上杉雅之(監修)ほか
(医歯薬出版, 2021)
推薦者
臼田滋先生(保健学研究科
リハビリテーション学講座)



ウイルス付きメールに注意しましょう！ ～マルウェアEmotet被害が拡大中です～

2021年11月より、マルウェアEmotetの感染が再拡大しています。感染しないように注意しましょう！

Emotetが深刻な理由の一つは「自分の知り合いからウイルス付メールが送られてくる」ためです。(注：実際には知り合いになりすました他人が送っています)。例えば、先生や大学、友人、同僚からのメールだからといって油断しないようにしましょう。現在、流行っているものは、添付ファイル(ウイルス付きです)はパスワードで暗号化されています。

【被害に遭わないために】

- メール添付ファイルやリンクを安易に実行しない
- オフィスファイルのマクロ自動化を無効にする

ウイルスの被害も深刻になっています。例えば以下のような被害があります。

- メールアカウント情報、送受信メール内容、アドレス帳等の情報流出
- ウイルスの拡散やウイルスをばらまくための踏み台にされる

- インターネットバンキング等のID、パスワードを窃取される

詳しくはIPAの情報等を参考にしてください。

<https://www.ipa.go.jp/security/announce/20191202.html>

(准教授 瀧元信州)



群馬大学総合情報メディアセンター

荒牧地区:前橋市荒牧町4-2
昭和地区:前橋市昭和町3-39-22
桐生地区:桐生市天神町1-5-1

TEL (027) 220 - 7170
FAX (027) 220 - 7184



本コンテンツは、クリエイティブ・コモンズの表示-改変禁止 3.0 ライセンスのもとでライセンスされています。

Webサイト <https://www.media.gunma-u.ac.jp/>

図書館ブログ <https://blog.media.gunma-u.ac.jp/>

Twitter公式アカウント  @Media_Gundai